

江南市議会各会派代表者様

日本共産党江南市議員団
掛布 まち子
三輪 陽子

議会運営に関する申し入れ

市民の直接選挙でそれぞれ選ばれる市議会と市長は、ともに市民を代表する対等な機関です。この二元代表制の一翼を担う江南市議会は、「市民福祉の更なる向上を目指しつつ市民の意思を的確に反映した市政を実現するべくその権能を発揮するとともに、執行機関等が行う市政の運営に対する監視と評価の機能を果たすため」（江南市議会基本条例より）、一層の改革を進めていくことが求められています。

これまでも議会改革特別委員会を中心に、様々な議論が行われてきたところではありますが、今、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、市民や市内業者の苦難を軽減し、連帯してコロナ禍を乗り越えるための市議会の役割は、いつにも増して重要になっています。

そこで下記10項目について、ご検討の上、ご賛同いただけますよう申し入れます。よろしくお願いいたします。

記

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けている市民、市内業者の苦難軽減に寄り添う市独自施策の立案と迅速な執行、多忙を極め奮闘する市職員を応援していくために、市執行部、市議会が、必要な情報を共有し十分に議論を尽くす場が必要です。そのために、必要な協議の場を、市執行部と調整の上、設けていただきたい。
2. 慣例となっている、常任委員会終了後の委員会と執行部との懇親会は、市政運営に対し議会が果たすべき監視機能の妨げになることから、今後も中止すること。
3. 一般質問に当たり、執行部側から事前に答弁書を受け取らないこと。
4. 議案に対する賛成討論原稿の提供を、執行部側から受けないこと。
5. 議長選挙は立候補制を取り、立候補者は議会運営にあたっての所信を表明すること。
6. 定例議会ごとに、独自の「議会だより」を発行し、全世帯を対象に配布すること。
7. 一般質問通告書は要旨を詳しく記載することを徹底し、通告書面を市民に公開すること。
8. 傍聴者に対し、通告書や議案書を配布すること。
9. 審議会等の委員報酬は、職員と同様に辞退すること。
10. 来年度以降の常任委員会視察研修は、2泊3日を前提とするのではなく、日帰り研修を増やして日程を短縮し経費節減に努めること。

以上